

3. 白河関の森公園に関する要望・課題

3. 白河関の森公園に関する要望・課題（アンケート結果・策定委員会の意見まとめ）

（1）散策しながら自然の豊かさを感じ取れる公園整備

関の森公園の「自然の豊かさ」への満足度の高さ、また、美しい自然を継承して欲しいという要望の多さから、美しい里山の風景や四季を通じた草花木の美しい自然の移り変わりが感じられる公園づくりが求められている。また、散策やバードウォッチングなど、関の森公園をつなぐ自然豊かな周辺スポットやコンテンツを見出すことで関の森公園がまちづくりの中心拠点となっていくことが期待されている。



白河関の森公園

（2）自然体験を通じた関の森公園でしか経験できない機会の創出

公園利用者の多くは「子どもの遊び」が目的となっていることやキャンプやアスレチックなど自然を体感する経験を子どもたちにさせたいという要望が多く上がっている。こういった意見からも、キャンプ場やグランピング施設、アスレチック場などハード面の整備と共に、自然体験や農業体験、林業体験、SDGs体験など環境教育機会の場になるソフト面の提供など、関の森公園でしか経験できない機会を創り出していくことが求められている。



白河関の森公園

（3）白河の地産地消を体験する場と機会の提供

白河ならではの美味しい食を堪能できる農家レストランやオーガニックカフェなどの飲食施設が求められている。また、地域の農家との連携や農業体験などを通じて、「自ら育て、収穫し、食す」をテーマとした地産地消を体験する機会の提供することで、地域の活性化へもつながることが期待されている。



農業体験イメージ

(4) 白河関跡や奥の細道などの歴史的資産の活用

地域の歴史に対して愛着を持たれている方が多いことから隣接する白河関跡や奥の細道を始めとした歴史を感じることができる施設や機会の提供が求められている。また、白河関跡が隣接していることを市民でも知らない人がいるなど、リニューアルに伴っては、サイン計画※13を含めた積極的なPR戦略の構築が求められる。

※13 どのような案内標識をどこに設置するのかをまとめた計画



白河関跡

(5) さまざまな人が交流する場としての公園利用

関の森公園の思い出として、一番多く挙がっていた「イベントに参加したこと」や過去の活気ある関の森公園を思い返す声が多く挙がっていたことから、関の森公園ならではの祭りやイベントなどを通じた親子や世代を超えた交流拠点となることが求められている。また、足元が悪い道があり、車椅子や年配の方にとっては、歩行が難しいなどの声も上がっていることから、バリアフリーを考慮に入れた公園整備も求められている。



関の森公園での交流イメージ

(6) 誰もが関の森公園の整備に関われるような仕組み

自治会や近隣住民だけでなく、地域を超えて幅広く、誰もがボランティアなどのかたちで公園の整備に関わる仕組みができることで、さまざまな人々が楽しみながら参加するコミュニティの場となることが期待されている。



策定委員会 風景